

ティーチング・ポートフォリオ

筑波学院大学 経営情報学部 ビジネスデザイン学科
亀田 千里

教育の責任（2020 年度担当科目）

グローバルコミュニケーションコースにおいて日本語学や日本語教育学に関する授業を担当する他、1年生対象の必修入門科目のうち大学での学びに必要な日本語力を身につけるための授業、およびキャリア教育に関わる授業を担当している。

科目名	対象 学年	受講 人数*	授業 形態	必修 選択	科目区分 (カリキュラムにおける位置づけ)
日本語リテラシーA①④	1	26	講・演	必修	入門科目群 入門科目群
日本語リテラシーB②③⑤	1	25	講・演	必修	入門科目群 入門科目群
日本語学	2-4	69	講義	選択	専門基礎科目群 コース科目 (グローバルコミュニケーション)
グローバルコミュニケーション演習 F1(地域コミュニティ活動)	3-4	26	演習	選択	専門発展科目群 コース科目 (グローバルコミュニケーション)
実践科目 A-1	1-2	117	講・実	選択 必修	進路支援科目群 実践科目
実践科目 A-2	1-2	75	講・実	選択 必修	進路支援科目群 実践科目
実践科目 B-1	1-2	40	講・実	選択 必修	進路支援科目群 実践科目
実践科目 B-2	4	3	実習	選択	進路支援科目群 実践科目
インターンシップ	2-4	14	実習	選択 必修	進路支援科目群 実践科目
卒業研究	4	4	演習	必修	卒業研究

教育の理念

「21 世紀のグローバル社会で自立して社会に貢献できる人材の育成」という大学の教育方針に則り、社会の中で生きていく際に必要となる以下の力を持ち自分も他人も尊重できる人材の育成を目指して、教育を行っている。

(1)主体的に考える力

提示された新しい知識をそのまま鵜呑みにするのではなく、既存の知識や体験と結びつけ、常に自分の頭で考えながら理解を深めていく力

(2)自分を正確に見極める力

自分の可能性を広げるべく、自分の現状、すなわち、できることとできないこと、できるようになったことを冷静に判断する力

(3)自分以外の人と関わりあう力

周りの人に目を向け、自分の考えを相手にわかる言葉で発信するとともに相手の言葉にも耳を傾け、人との関わりを通じて自分自身の考えや行動を決定していく力

教育の方法

学生の主体性や他者と関わる力を伸ばすために、どの授業においても、グループでディスカッション

ョンをしたり学生同士でお互いの課題をチェックしたりする機会を積極的に取り入れている。

専門分野に関する授業においては、受講生が日本語学や日本語教育を自分自身の問題として理解できるよう、身近な言語現象や自身の言語学習経験等について受講生に質問を投げかけ、考えさせるようにしている。

キャリア教育に関わる授業では、学生自身が学外で行った活動について「何ができ、何ができなかったのか」「自分が社会に対してどのような貢献ができたのか」を振り返らせ言語化させることによって、「社会の中の自分」という視点を学生に持たせるよう心がけている。

また、1年生対象の授業を多く担当しており、2019年度は留学生対象の授業も担当していたことから、授業の進め方や目的、評価、宿題の内容などに関する説明は丁寧に行うよう心がけている。重要な指示は必ず口頭での説明に加えて文書も配付し、メールや Google classroom も活用して、漏れのないようにしている。

さらに、学生自身の自尊心を育てるために、学生の「できたこと」に目を向け、なるべく学生をほめるよう、心がけている。

教育の成果 および 今後の目標

「授業改善計画報告書」を参照。

参考資料

(2019年度担当授業に関するもの)

1. 「日本語リテラシーA」「日本語リテラシーB」シラバスおよび使用教材
2. 「日本語リテラシーA・B」 Google classroom (非公開)
3. 「日本語学」シラバスおよび使用教材
4. 「グローバルコミュニケーション演習 F1」シラバスおよび使用教材
5. 「実践科目 B・2」学生レポートおよびプレゼンテーション資料 (非公開)